



「私のトラブル」

鵜飼 明夫

くまさん会も今年で二十年を迎えました。この間大きな事故もなくみなさん楽しい山行を楽しんでおられることなによりです。これはひとえにリーダーである熊本さんなどがコース企画や当日の山歩きのリードが適切な結果の賜物と思います。

小生も熊本さんと一緒に歩き始めて十八年、小さなトラブルはあり、今もそれを自戒して参加しています。

ひとつめは、二〇〇一年の唐松岳、五竜岳の縦走のときでした。熊本さんは所用のため唐松岳で展望を楽しんだ後途中帰京して、半沢さん、高橋文さんと三人で、五竜岳に向かいました。唐松から五竜岳への縦走路は途中牛首と言われる付近で三点支持を三十分続ける岩場で難渋したが無事通過し五竜小屋に到着し、荷物を預けていよいよ五竜岳へ。山塊は堂々として立派な山容で心が躍る。午後二時過ぎに山頂から五竜小屋へと引き返す。トラブルはここで起きた。岩に書かれた印確認しながら岩場を慎重に二十分ばかり下ったところで何か景色がイメージと違う。右が谷で左が斜面これは小屋に向かうルートと逆ではないか。三人がようやく気が付いた。どうやら鹿嶋槍に向かうキレット小屋へ向かうルートと取り違えたようだ。元に戻るしかない。下った坂を登り返すのは辛い。三十分位掛かって分岐点に戻った。三人で六つの眼で標識を見ているはずなのに間違ってしまった。その時先頭を歩いたのはいつものように鵜飼だった。グループで歩いても先頭が行く方向に後からの人もそのまま続いてしまうのはありがちなことです。元のルートに戻り五竜小屋の屋根が見えた時はほっとしました。長い遠見尾根を下る途中で見た鹿嶋槍は印象的で次はあの山に思いつつその思いは果たせないでいる。山歩きは共同作業と思う。リーダーや誰かに任せ放しでなくメンバーとしてそれぞれ山歩きの自立心を持ちたい。

二つ目は岩木山での転倒です。青森ツアーの三日目に岩木山への登頂のときでした。標高差はあまり無いが山頂近くは岩場続き。山頂での展望を楽しみさあ下りという途中で転倒してしまった。片足が岩の間に引掛かり抜けにくくなって力を入れて抜いた途端にバランスを崩して一回転してしまった。幸い一回転で止まった。メガネのフレームが歪み、おでこに大きなタンコブが出来たがよくその程度の被害で済んだと思う。登山路での転倒は大きな事故に繋がりにかねない。靴底が柔らかなトレッキングシューズが原因だと思いますが一步一步を大事に歩こうではありませんか。